

## インターネットと人権



インターネットの利用者は年々増加しています。特に、スマートフォンの普及により、インターネットはより手軽に使えるようになりました。そんな中、インターネット利用がもとでトラブルが起こるケースが増えています。誰もが安心して生活するためには、私たち一人ひとりがインターネット利用で起こる様々な問題を知り、対応していく必要があります。

今日は、Facebook・Twitter・ブログ・LINEのグループトーク・電子掲示板などで起こるトラブルの具体例を通して、インターネットと人権について、考えてみましょう。

### 1. 軽い気持ちや、冗談で書きこんだ言葉が、相手の誤解を招くトラブル

文字だけのやり取りなので、誤解が生じてしまうことがあります。また、心ない書き込みに対して、「いいね」や「ツイート」といったボタンをクリックしたり、LINEのグループトークに「既読」マークが付くことで、無意識のうちにネットいじめの参加者になっている危険性があります。自分が被害者や加害者にならないように、誤解を招かない言葉を選びましょう。

### 2. 個人情報の流出

Facebook・twitterは、知らない人と幅広くつながってしまいます。また、LINEのグループトークに書き込んだメッセージを、グループ全員に消してもらうことは簡単ではありません。自分では、身近な人にだけ発信したつもりだった書き込みが、あっという間に拡散してしまう危険性があります。

例えば、自分や友人の「個人が特定できる内容や画像」を気軽に書き込んだりしていませんか？友人と一緒に写っている写真を、友人の許可なくアップしたりしていませんか？特に、個人名を書いた上での悪口や誹謗中傷<sup>\*1</sup>は、絶対に書き込んではいけません（名誉きそん罪など、法律に触れる場合もあります）。自分の書き込みには責任をもち、個人情報を流出させないようにしましょう。〈※1 誹謗中傷（ひぼうちゅうしょう）…人をけなしたり、根拠のない悪口を言うこと〉



2月1日～3月18日（サイバー）は、

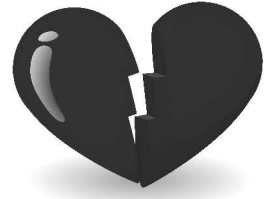
『**サイバーセキュリティ月間**』です。

（キャッチフレーズ）

- ① 安全・安心・便利なインターネット環境を構築するためのポイントを『**知る**』こと。
- ② サイバーセキュリティ上の脅威から、身を『**守る**』こと。
- ③ 移り変わるサイバーセキュリティ上の脅威に対して対策を『**続ける**』こと。

### 3. LINE内での、友人間トラブル

LINEは無料でチャットや通話や画像送信などができるので、大変便利ですが、友人間トラブルもたくさん起こっています。グループトーク内での安易な書き込みやブロックがいじめにつながってしまった例もあります。また、LINEの「既読」マークは、相手がメッセージを読んだかどうか分かるというメリットの一方で、デメリットもあります。「既読なのに返信がなかなか来ない」と気にやんだり、「既読にしたから、早く返信しないとイケない」と、携帯を四六時中手放せなかったりするなど、「既読」マークを気にし過ぎて精神的に疲れてしまう人がいます。LINEを利用する際は、お互いにルールを決めて、トラブルを避けましょう。



- ◎ 軽い気持ちで書きこんだことが、重大なプライバシーの侵害や、人権の侵害になることがあります。
- ◎ 個人情報の流出は、犯罪です。
- ◎ 悪口や誹謗中傷は、絶対に書いてはいけません。
- ◎ ネットいじめの参加者にならないように、常に人権を意識しましょう。

### ※ 自分と相手の人権を守るために



まずは、世界中の人に見られる可能性があることを自覚しましょう。一度書きこんでしまった内容を削除することは困難です。読み手の気持ちを考えて、「誰が読んでも嫌な気持ちにならない書き込み」を心がけましょう。

また、文字だけのやり取りでは、声のトーンや表情などが伝わらず、温度差や誤解が生じてしまうことがあります。

**大切な話は、直接会って、表情を見ながら伝えましょう。**

担当：村岡 舞香・三好 朱音

今年度の放送は、今回でおしまいです。来年度もお楽しみに。

さよなら、さよなら、さよなら…